

# 万防時報

2011年1月20日 第11号

〈万防機構の活動もいよいよ広がりを見せています。皆様の協力を！〉

## 警視庁の万引き防止対策が本格化 「東京万引き防止官民合同会議」

第1回：21年12月1日、第2回：22年6月30日、第3回：22年12月16日

(資料提供：警視庁生活安全部)

警視庁では万引きは社会経済的にも重大な損失を与えるのみならず、万引きに対する意識の低さから社会の規範意識の低下を招き、東京の将来の治安にとって看過することのできない重要な問題であり、今後も重点的、継続的に取



第3回東京万引き防止官民合同会議

組み、万引き防止対策が東京の治安の基礎をさらに強固にするために官民あげて連携、協働して確かなものにしていこうとしている。

ここで5委員会の活動を報告します。万防機構の理事の方々は全ての委員会のどこかに

参加いただき、活発なご意見・主張をされています。

### 1. 総務委員会：青山委員長（警視庁生活安全部生活安全総務課長）

委員会開催 平成22年：5月31日(月)・9月28日(火)・11月18日(木)

万引き防止連絡会の設置：地域密着型の組織として全警察97署（島部除く）に178連絡会が発足（22年11月16日現在）

万引き追放SUMMERキャンペーン：22年7月28日(水)

東京芸術劇場大ホールに警察関係、東京都、業界、関係団体、地域住民、学校関係者1,818名が出席 総合司会...万防機構広報委員長吉川美代子氏

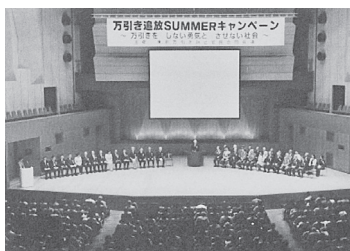
広く万引きに対する現実、対策の取組み活動を解っていただくためのイベントを行った。

万引き防止シンポジウム：22年12月1日(水)

東商ホールに業界団体・関係団体・警察関係・一般の方々等552名

総合司会...万防機構広報委員長 吉川美代子氏

基調講演：草野仁アドバイザー「古来より世界の人々から尊敬されていた、背筋の伸びた誇り高



SUMMER キャンペーン会場

い日本人の生き方・心のあり方・人間としての教育の仕方を今考え直すべきではないか、ゲートウェイ犯罪である万引きを軽視してはいけないと提言」

パネルディスカッションは桜美林大学の坂井教授のコーディネーターのもと青少年の万引きと高齢者の万引きに絞って活発な議論が展開された。

### 2. 調査研究委員会：三浦委員長（新日本スーパーマーケット協会専務理事・万防機構理事）

委員会開催：22年6月4日、11月18日

万引き被害品の流通防止対策の推進

万引き被害品の処分先として利用される可能性が高い古物商に対して、指導・監督を強化し、万引被害品が処分されにくい環境づくりを行うことにより、万引の抑制を図ることを目的とし、警視庁では今、古物商に対する指導・取締りの強化や古物商に対する指導・支援を実施し、「古物営業ガイドブック」の効果的活用や各種法令講習会の開催、業界団体の自主的な取組みに対する支援を実施している。

高齢者の社会参加促進

警視庁では22年9月から試験的に20警察署を指定し、万引きで摘発された高齢者等で社会参加活動等を希望する者には、警察署や地域協力団体等が行う各種キャンペーンへの参加や自治体が行っている各種サービス事業等の窓口の紹介を行うなど「再犯防止」を図る取組みを開始している。

「万引き防止対応ガイドライン」(ソフト対策編・捕捉時対応マニュアル編)の作成

「ソフト対策編」では、あいさつ・声かけといった従業員の意識と連携、店内レイアウトや店舗表示、店内放送、警備体制等店舗対策、店内の防犯に関する情報共有等について詳しく記載している。

「捕捉時対応マニュアル」では、万引き犯人を捕捉する際の対応要領として、万引き発見から通報までの流れ、万引き発見時や万引き犯人を捕捉する際のポイント、警察への通報要領等について纏めている。

万引き取扱事例集の作成

各業界に対して実施したアンケートの結果最近の万引犯罪の事例を集めたもので、今後「防犯責任者養成講座」等各種検討会における研修用資料として活用の



パトロールマニュアル

予定。

ボランティア活動用パトロールマニュアルの作成

犯罪を未然に防止するためのパトロール活動に従事する防犯ボランティアが、安全かつ効果的にパトロールに従事することが出来るよう作成したものの。4万部を作成し配付した。

3 防犯設備委員会：近藤委員長(日本チェーンドラックストア協会副会長・万防機構理事)

委員会開催：22年6月7日、11月19日

万引き防止対応ガイドライン(ハード対策編)

万引きをしにくい店づくりを推進するための「ハード対策編」の作成をした。

万引き防止タグ・ゲートシステム、防犯カメラ、各種万引対策機器等の紹介、その機器類を使用するための店舗チェック問答により店舗の状況を把握できるようにもしている。前項のソフト対策編、捕捉時対応マニュアルも含めて3月まで配付の予定。

業界等によるモデル店舗の推進と店舗見学会等の実施

万引き防止対策等を積極的に推進しているモデル店舗を業界から推薦していただき、「モデル店舗情報」として関係団体等で共有するほか、「東京万引き防止官民合同会議」各委員会等による推薦のあった店舗については見学会や店舗におけるキャンペーン等の実施を予定している。

4 教育研修委員会：若松委員長(日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合専務理事・万防機構理事)

委員会開催：22年6月4日、11月19日

万引き防止道徳教材活用

東京都教育委員庁から本年8月までに配付したDVDは小中高計2,383校に配布し、順次活用状況がつかめてきている。「万引きをしたい気持ちに打ち勝つことが大事だと思った」、「万引きは絶対やってはいけないと思った」等、改めて万引きに対する認識を深めている報告があがっています。

防犯責任者養成講座等の実施

「万引きをしない させない 見逃さない」運動をより効果的に推進するため、また、「万引きをしにくい店舗」をつくるために、防犯環境設計等の知識を習得させる目的で実施します。講座は、年2回実施する予定で、第1回目は3月2日に東商ホールで実施する予定です。

万引きに係る賠償請求の事例研究

万引き被害店舗が犯人に対し、万引き防止用の防犯カメラ設置費・警備員の経費等を再発防止策として請求する方法が6年前に名古屋の三洋堂書店からはじまって、徐々に広がりつつあるが、一方で岡山で発生した不適切な事例も出ている。

この不適切な事例の発生を防ぐために、今後、各業界からの事例等を研究し適切な実施方法を模索して行きたい。

5 広報委員会：桑島委員長(東京都商店街振興組合連合会・東京都商店街連合会理事長)

委員会開催：22年6月7日、10月7日

万引き防止広報用ポスター・ロゴマークの活用

昨年9月にロゴマーク及び万引き防止標語入りポスターを12万枚作成し、各警察署管内の小売店に配布した。警視庁のホームページでも掲載されているおり、PDFファイルからも印刷が可能ですので活用できます。

万引き防止ロゴマーク入り広報用シールの作成

大きなポスターを張るところがない問題等が生じていることもあり「万引きロゴマーク入り広報用シール」の作成を進めている。22年度内に26万枚作成し、効果的な店舗に配布する予定である。

万引きゼロの日の設定

昨年7月20日より、毎月20日を「万引きゼロの日」

に設定、各警察署では、業界・関係団体等協力の上、ケーブルテレビ・繁華街の街頭マルチビジョンによる広報や、街頭キャンペーンを行っている。



ポスター



ロゴマーク

警察庁が「全件通報」を全国に展開!!

「万引き防止官民合同会議」：22年10月14日

「犯罪の起きにくい社会づくり官民合同会議」：22年11月30日

平成22年4月21日警察庁は犯罪の起きにくい社会を作るために規範意識の低下を助長する万引きについては店舗が被害にあった時は全て警察に通報し、警察も厳しく取り締まるよう長官通達を全国警察本部に出しました。更に5月31日全国警察本部長会議に於いて万引き事案の警察への通報ルールの簡略化についての報告がなされた。このことを受けて10月1日から全国で万引き事案の「全件通報」が実施に移された。このことをバックアップするために10月14日に「万引き防止官民合同会議」が開催され、万引きを許

さない社会気運の醸成・万引きをさせない環境整備を推進・万引きを認知した場合の届けの徹底を推進の3項からなる「万引きをさせない社会づくり」の共同宣言がなされた。

引き続き11月30日に更に拡大し、業界団体・事業者23団体・13社、関係団体12団体、1自治体、7省庁等総勢80人の出席者からなる「犯罪の起きにくい社会づくり官民合同会議」が開催された。万防機構からは、山村総務委員長が出席しました。











# 万引き撲滅にむけたセミナーの報告

## 事例1 家庭裁判所「万引き被害を考えるセミナー」講師 矢島理事

横浜家庭裁判所で実施されている「万引き被害を考えるセミナー」に於いて、当機構の矢島靖夫理事が被害者の視点から万引きの再犯防止の講義を担当されています。矢島理事の講義ですが、万引き被害の実情について、商品の被害、万引き防止対策費用など経済的な負担だけでなく、精神的にも大きなダメージを受けているということをお話しいただいてから、家庭裁判所の講習を受けたことを再出発のきっかけにしてほしい、がんばってほしいと少年たちにエールを送る内容です。これに対し少年や保護者は、万引き被害の大きさがよく分かった、再出発を励まされて思わず涙が出たなどという感想を寄せています。大変感銘力のある講義であるため、現在は二ヶ月に一回の割合で講義を担当されています。

## 事例2 岐阜県での大型店舗等万引き防止連絡会での講演

平成22年11月9日岐阜県警察本部に於いて「大型店舗等万引き防止対策連絡会」が開催され、加藤調査研究委員長が講演いたしました。全国小売業万引被害実態調査や万引犯への損害賠償請求や店内捕捉の取り組み事例を紹介されました。

当日の発表資料 不明ロス率の推移

ロス率07年度		ロス率08年度		ロス率09年度	
スーパー	1.80%	百貨店	0.92%	カジュアル衣料	1.60%
総合DS	1.63%	服飾・服飾雑貨	0.81%	服飾・服飾雑貨	1.50%
HC・カー用品	1.01%	書籍・文具	0.74%	楽器・CD	0.88%
楽器・CD	0.96%	カジュアル衣料	0.72%	時計・めがね	0.87%
服飾・服飾雑貨	0.91%	総合DS	0.68%	HC・カー用品	0.60%
婦人服・子供服	0.78%	HC・カー用品	0.63%	書籍・文具	0.59%
スポーツ用品	0.74%	スーパー	0.62%	スポーツ用品	0.58%
百貨店	0.72%	医療品	0.54%	医療品	0.48%
書籍・文具	0.63%	婦人服・子供服	0.52%	スーパー	0.37%
時計・めがね	0.56%	靴	0.47%	総合DS	0.35%
医療品	0.54%	スポーツ用品	0.31%	靴	0.28%
カジュアル衣料	0.35%	楽器・CD	0.23%	婦人服・子供服	0.18%
靴	0.30%	紳士服	0.06%	百貨店	0.15%
紳士服	0.12%	時計・めがね	0.04%	紳士服	0.02%

## 事例3 業界団体のセミナーでの講演

平成22年11月5日 日本チェーンストア協議会関東支部「消費者部会勉強会」が開催され、福井事務局長が講演いたしました。50名の参加者全員から大変参考になったというアンケート結果をいただきました。

～参加者の声～

- チェーンストアなので万引き防止のポスターは全国共通版をお願いしたい。
- 大量万引、高額品万引等が増加している。手口も販売員の裏をかく様なものが多い。手口等についての情報の共有がますます重要になっている。
- 手続き書類の簡素化については、内容を含め、本社及び店長等にも教育していきたい。



## 事例4 万引き犯罪に関する論文

機構ホームページに「トピックス 2010.12.1」に坂井昭宏教授（桜美林大学）の小論文「なぜ倫理学者が犯罪抑止対策に関わるか」を掲載しました。坂井教授は、機構の「万引に関する全国青少年意識調査」の分析を担当されています。教授の万引き撲滅への願いを熟読ください。

<本文より一部抜粋>

犯罪の少ない安心して暮らすことのできる街を作るために、若いうちから何らかの形で社会貢献を心がけ、社会との関わりを広げたり深めたりする必要があるのではないのでしょうか。公園や道路の清掃、公共施設の維持管理の手伝い、通学路の見守り、介護施設での補助作業、何でもよいのです。やることは沢山あります。そうした共同作業の輪の中に万引きなどゲートウェイ犯罪の再犯者にも加わってもらって、少しでも住みよい社会を作り上げてゆく。そういう社会であって欲しいと願っています。

## 事例5 福岡県万引防止協議会研修会

平成22年11月29日「福岡県万引防止協議会研修会」が福岡サンズルズホテルで開催され、防犯責任者約200名に普及推



進委員の稲本氏が講演いたしました。万引きをさせない環境づくりの方策として、実際の陳列状況等をスライドで紹介し改善点を説明した他、笑顔での声かけで店舗環境が改善され万引ロスが減少するとして、来場者に笑顔での挨拶を実践させるなど笑い声の絶えない講演となりました。また、万引きを見過ごさないためには、警察への全件届出を徹底するなど「見て見ぬふり」をしないことが大切であると訴えました。

#### 事例6 都内中学校でのセーフティー教室「万引き防止」

都内の中学校で普及推進委員の稲本氏が講演をいたしました。全校生徒と保護者の前で、100円売って利益がどのくらいなのか、万引きを繰り返されて閉店せざるを得なくなったお店の話など、具体的な例を交えながら、生徒へ万引きは重大な犯罪であることを教えました。また、挨拶が持つ大切な意味や歴史（寛政の改革）をからめた犯罪を作

らない社会づくりの話など、様々な視点から「万引きをしない・させない・見過ごさない」を訴えました。

生徒達は万引防止に関しての講演ははじめての様子でしたが非常に好評でした。

4月30日：江戸川区立小松川第三中学校

6月24日：江戸川区立松江第六中学校

7月8日：私立実践学園中学校

7月8日：江戸川区立小岩第二中学校

～生徒たちの声～

●100円のを1個盗まれると、20個も売らないと利益を得ることができないのに、びっくりした。お店で見かけたら、店員さんへ伝えたいと思う。

●万引きのせいでお店がつぶれ、人生を変えてしまうこともあるのに驚いた。

●誘われても絶対しないようにしたい。また、友達がやっていたりしたら、注意していきたい。

## 万防機構活動報告

### 短 信

12月15日（水）発売のチェーンストアエイジに加藤和裕調査研究委員会委員長が小売業万引被害の実態について寄稿されました。

12月16日（木）警察庁は万引きされることが多い書籍やCD及びDVDについて、古物商が買い取る場合に金額に関係なく身分証明書で売り主の本人確認を行うよう義務化する方針を決めました。

12月16日（木）非行少年の立ち直り支援について、警察庁は、問題を抱える少年に警察側から働きかけていく訪問型の支援活動の導入を決めました。

### ご連絡

平成22年8月に当機構の監事である猪狩俊郎弁護士が急逝されましたので、ここにご報告させていただくとともに、謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。故人は平成15年発足した「東京都万引対策協議会」の議長として、意見の対立する立場の方々の意見をまとめ、最終的に「東京都の万引きをさせないための行動計画」（アクションプラン）を立案されました。機構ホームページのデジタル万防/東京都の中でその全文を読むことができます。この偉業を心に刻み今後の活動に引き継いでいかなければと思います。万防機構発足当時から監事をお願いして、ご指導いただきました。

### 寄付のお願いと新規会員の募集

万防機構は主旨に賛同される地域社会の生活者と支援者の方に参加を呼び掛けています。万引犯罪防止のための社

会システムの構築が広く推進されていくためには、地域社会の生活者ひとりひとりの自覚とともに、広い社会からのご支援の輪が必要です。

つきましては、財政的支援のご意思をお持ちになる篤志家の方々の広範なご協力を衷心よりお願い申し上げます。

同時に、万引き対策を継続的に推進していくためには、資金面・活動面でサポートいただく会員各位のご尽力が不可欠です。ご支援していただく新規会員を募集しておりますので、ご紹介をよろしく申し上げます。詳細は機構のホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせ下さい。

### 編集後記

12月4日（土）NHK 総合 目撃！日本列島にて、動機は“孤独”～元刑事が向きあう高齢者犯罪～が放映されました。名古屋刑務所に服役している男性を取材。妻を亡くし、再度窃盗に手を染めたこの男性を、出所するまでサポートする様子取材。地域社会が抱える課題についての報道調査、地方に希望を与える取り組み、そして未来に向けて奮闘する人びとなど、テーマは多彩。各放送局の若手ディレクターが地元放送局の強みを生かした丹念な取材で、取材対象とじっくり向き合います。そして若いテレビジャーナリストならではの新鮮な問題意識と真摯な姿勢で、先行き不透明な日本社会への改革のヒントを探求しています。感銘力のある内容は視聴者の感動を呼び、何回も再放送されています。今後もこのような万引き問題の解決に向けた放送番組が制作されるよう報道機関に働きかけをおこなっていく所存です。

## 発行：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8 Tel. 03-3355-2322 Fax. 03-3355-2344  
e-mail info8@manboukikuou.jp URL http://www.manboukikuou.jp